

令和6年度 第3学年 数学科 年間指導計画・評価計画(年間140時間)

目標	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする能力を身につける。 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づいて、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う。
----	---

【 評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度 】

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
数量				
4 5	14	式の計算	<ul style="list-style-type: none"> 1次式の乗法の基礎的な計算ができる。 展開の公式がもつ意味を理解し、式を能率よく処理することができる。 既に学習した計算の方法と関連付けて、計算方法を考察し、説明することができる。 <p>多項式の計算 因数分解 式の計算の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①問題を解く手順を理解している。(授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②応用問題等に積極的に取り組み、考えを表現したり解決したりする。(授業での取り組み、プリント、小テスト、定期考査) ③自ら進んで問題を解こうとする。(授業での取り組み、問題集、プリント)
5 6 ◆ 7	17	平方根	<ul style="list-style-type: none"> 数の平方根の必要性和意味を理解する。 平方根をふくむ式の計算の方法を考察し、説明することができる。 分母を有理化する方法を考えようとする。 <p>平方根 根号を含む式の計算</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①問題を解く手順を理解している。(授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②応用問題等に積極的に取り組み、考えを表現したり解決したりする。(授業での取り組み、プリント、小テスト、定期考査) ③自ら進んで問題を解こうとする。(授業での取り組み、問題集、プリント)
7 9 ◆ 10	15	2次方程式	<ul style="list-style-type: none"> 2次方程式の必要性和意味、解の意味を理解する。 2次方程式を解く方法を考察し、説明することができる。 2次方程式を能率的に解く方法を考えようとする。 <p>2次方程式 2次方程式の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①問題を解く手順を理解している。(授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②応用問題等に積極的に取り組み、考えを表現したり解決したりする。(授業での取り組み、プリント、小テスト、定期考査) ③自ら進んで問題を解こうとする。(授業での取り組み、問題集、プリント)
10 11 ◆	17	関数 $y=ax^2$ ★	<ul style="list-style-type: none"> 関数 $y=ax^2$ のグラフの特徴を理解する。 関数 $y=ax^2$ を具体的な場面で利用することができる。 関数 $y=ax^2$ の表、式、グラフを相互に関連付けようとする。 <p>関数 $y=ax^2$ 関数の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①グラフを書くことができ、式にも表すことができる。変化の割合とグラフの特徴を理解している。(授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②事象に潜む関係やきまりをとらえ、順序よく筋道をたてて考えている(プリント、小テスト、定期考査) ③関数に関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。(授業での取り組み、プリント、レポート)
11 12	15	三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理とその逆の意味を理解する。 三平方の定理を具体的な場面で利用できる。 三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとする。 <p>三平方の定理 三平方の定理の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①基本問題を理解し、解くことができる。(授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②進んで問題解決に取り組み、様々な考え方ができる。(授業での取り組み、プリント、小テスト、定期考査) ③図形に関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。(授業での取り組み、プリント、小テスト)
1	8	標本調査	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査の必要性和意味を理解する。 標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断する。 標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとする。 <p>母集団と標本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①基本問題を理解し、解くことができる。(授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②進んで問題解決に取り組み、様々な考え方ができる。(授業での取り組み、プリント、小テスト、定期考査) ③標本調査に関心をもち、意欲的に学ぼうとしている。(授業での取り組み、プリント、小テスト、定期考査)
1 2 ◆ 3	20	いろいろな問題	総合的な問題に取り組むことができる。	総合的な問題を解くことができる。(ワークシート、小テスト、定期考査)

図形				
4 5 6 ◆ 7	20	相似	<ul style="list-style-type: none"> 相似な図形の性質や三角形の相似条件を理解する。 2つの三角形が相似であるかどうかについて、三角形の相似条件をもとにして説明することができる。 三角形と線分の比についての性質を統合的にとらえようとする。 相似な図形 平行線と線分の比 相似の利用	①基本問題を理解し、解くことができる。(授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②進んで問題解決に取り組み、様々な考え方ができる。(授業での取り組み、レポート、小テスト、定期考査) ③図形に関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。(授業での取り組み、レポート、小テスト、定期考査)
9 ◆ 10 11	10	円	<ul style="list-style-type: none"> 円周角と中心角の関係の意味を理解する。 円周角の定理や、円周角と中心角の関係を具体的な場面で利用できる。 円の接線の作図を見通して立てて行おうとする。 円周角の定理 円周角の定理の逆 円の性質の利用	①基本問題を理解し、解くことができる。(授業での取り組み、プリント、問題集、小テスト、定期考査) ②進んで問題解決に取り組み、様々な考え方ができる。(授業での取り組み、レポート、小テスト、定期考査) ③図形に関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。(授業での取り組み、レポート、小テスト、定期考査)
12 1 2 ◆ 3	5	いろいろな問題	総合的な問題に取り組むことができる。	総合的な問題を解くことができる。(ワークシート、小テスト、定期考査)

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数の性質や計算について考察したり、数量の関係や法則などを考察したりする。 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する。 特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する。 母集団の傾向を推定し判断し、調査の方法や結果を批判的に考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考える。 数学を生活や学習に生かし、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。 多様な考えを認め、よりよく問題解決している。
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取組 提出物(プリント) 小テスト 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取組 提出物(ワーク・プリント・テスト直し) 小テスト 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み 提出物(問題集・プリント・テスト直し) 小テスト 定期考査

学習のアドバイス

(1)授業態度

- 積極的に発言する、周りと相談するなど、進んで授業に参加する。
- 分からないところは自ら先生やクラスメイトに質問したり、調べたりする。
- 集中して授業に臨み、先生の話やクラスメイトの意見から学ぼうとする。
- 授業を受ける姿勢、忘れ物をなくすこと、提出物などを意識して授業を受ける。
- すでに学んだことをもとに、新しい性質や考え方を見付けようとする。
- ノートは見直ししやすいように書く。
- ノートには、板書だけでなく先生の説明や気付いたことを書かす。

(2)提出物

- ワークは早めに取り組み、丸付けを丁寧に行う。途中式や考え方も書く。
- ワーク、テスト直し、プリントは必ず提出日までに提出できるよう、計画的に進める。

(3)単元ごとのふりかえり

- 自分の課題を把握して、それを改善しようとする。
- 数学は積み重ねで、次につながっていくので、分からないことはそのままにしない。
- 授業や宿題の理解だけで満足せず、人に説明できる力がついているかを確認する。
- 解答を写した問題は、必ずもう一度解き直し、自分の力で解けるようにする。
- ワークは最低1周解く。2周、3周すると力がつく。

